



# ヒメマルカツオブシムシ

毛織物が大好きな虫

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発生   多い												

気づかないうちに、ウールの服に穴が開いていたりする、その犯人の多くは、ヒメマルカツオブシムシの幼虫です。この幼虫は、毛織物、毛糸、羽毛、干魚、動物標本等、主として動物質のものを食害します。特に、繊維製品を好んで食害しますが、動物繊維を混紡するベンベルグ、アセテート等も対象とします。

## 生態

成虫は、食害するものに産卵し、産卵後、野外に移動し、菊科の花（マーガレット、ヒメジオン）に集まり、花粉や花蜜を食べます。孵化した幼虫は、太ったウジ状で、活発に動きまわります。

越冬場所は、加害物の中や付近の隙間で、幼虫で越冬します。

## 被害

幼虫は、暗い場所を好み、押入れやタンスの中での被害が多くみられます。

また、幼虫の時期を室内で過ごし、春から初夏にかけて成虫になりますが、この時期、室内に多数の成虫が見つかる場合は、既に被害を受けていることが多いので、よく調べる必要があります。

## 対策

ごく普通に見られる虫なので、野外からの侵入を防止することは困難といえます。また、ウール製品や毛糸は、防虫剤を入れた密封袋等に収納するのが、最も良い方法となります。



成虫(体長約3mm)



若い幼虫

成熟した幼虫(体長約5mm)



被害を受けた布

(写真提供：東京都)